

■優秀賞

①日下エンジニアリング株式会社（米子市）

<https://kusaka-eng.com/>

○表彰事業

「3Dプリンターによる「1/6スケールエンジンレプリカモデル」の商品化」

○事業内容

大手メーカーの協力企業として、電機部品の企画・製造を行いながら、自社製品にこだわり新規事業を模索していた。そのような中、鳥取県産業技術センターが所有する3Dプリンターに着目し、エンジンレプリカを製作したところ、マニアを中心に国内外から引き合いが多数あり、新規事業として確立できた。

自動車メーカーから提供された実物のエンジンをスキャニングし3Dデータを製作、そこから3Dプリンターで原型を製作し、シリコン型で部品をキャストして1/6のエンジンスケールモデルを製作するという独自の製作方法で、ゼロから模型業界に参入している。

日産自動車のスカイラインGT-Rの心臓部のRB26DETTのエンジンモデル化を筆頭に、世界初の量産ロータリーエンジンを搭載したコスモスポーツのL10B型エンジンモデル、日本車としてル・マン24時間レースで初優勝を飾ったマツダ787Bに搭載されたR26Bなど、日本の名車のエンジンモデルを卓上サイズのコレクションとして世に送り出している。

②ためま株式会社（広島市）

<https://www.tamemap.net/>

○表彰事業

「地域活動情報の地図連動サービス「ためまっぷ」の企画制作・運営」

○事業内容

事業のきっかけは、現代表の子育て時の孤立体験である。公民館や町内会のチラシは電子化されておらず、インターネットでは見ることができない膨大な量の紙のイベント情報がある。一方でWEBサイトやSNS、広報誌でも自治体や団体・施設などの情報が散乱しており、自治体や地域団体の情報発信が上手くいっていないのが現状である。

そこで、地域行事や市民活動のチラシ写真や電子情報に、位置情報を付加して日付で整理する「ためまっぷ」を企画・製作した。「ためまっぷ」は、スマートフォンのGPS機能を活用し、「今日、今からでも参加できる地域活動を5秒で検索できる」アプリサービスである。

公民館や町内会などの地域イベントのチラシをスマホカメラで撮影して簡単に投稿でき、イベントを探す人はアプリを開くだけで、今いる場所から近くの地域活動のチラシを、ジャンルを絞って見ることができる。

誰でも簡単に操作を行えるのが特徴で、サービス基本機能は特許取得済で、自治体のエビデンスも得て、全国展開を進めている。

③株式会社みとも（下関市）

<http://triparu.com/>

○表彰事業

「軽トラックに載せる脱着式シェルター「Triparu（トリパル）」の開発・販売」

○事業内容

鉄工業・塗装業で培ってきた技術を生かし、軽トラックの荷台に自社製の脱着式シェルターを載せることで、キャンピングカーに早変わりする自社製シェルター「トリパル」を開発した。

シェルターは軽トラックの荷台に載せることでキャンピングカーや防災シェルター、キッチンカーに早変わりする。トリパルの最大の特徴は、簡単に脱着できるところで、シェルター単体だと、倉庫や仕事部屋、趣味スペースとしても利用可能である。

軽自動車は小回りが利き、以前と比べ性能も格段に向上しており、AT車でも相当な馬力があることから、大型キャンピングカーでは行けない山道や荒れ地でも運転が可能である。また、燃費が良く、自動車税も安いことから経済性も高い。

近年、全国各地で自然災害が増えてきており、災害時に防災シェルターとして利用することで、ペットや乳幼児がいても安心して避難することができるメリットもある。